

有害プランクトン調査結果（速報）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所

令和5年8月28日付けで発出したシャトネラ属 *Chattonella spp.*の有害プランクトン警報（R5 No.1-1）は、令和5年10月16,17日の調査結果をもって解除します。

【有害プランクトンの出現状況】

●シャトネラ属、カレニア属は全ての調査地点で確認されませんでした（下表）。

表 有害プランクトンの細胞数密度（細胞数/ml）

	調査点	シャトネラ属	カレニア属
東京湾内湾 10/17	船橋	—	—
	千葉灯標	—	—
	羽田沖	—	—
	アガ北	—	—
	盤洲北	—	—
	アガ南	—	—
	盤洲南	—	—
	富津	—	—
内房海域 10/16	富津南	—	—
	大貫	—	—
	浦賀水道	—	—
	保田	—	—
	勝山沖	—	—
	岩井	—	—
	富浦	—	—

注) — は確認されず

(警報・注意報の基準)

	シャトネラ属密度（細胞数/mL）	カレニア属密度（細胞数/mL）
注意を必要とする基準	1	100
警戒を必要とする基準	10	1,000

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

●麻痺性貝毒を生産する可能性のあるアレキサンドリウム属が内湾の2点（アガ南 0.05 細胞数/ml 及び羽田沖 0.1 細胞数/ml）で低密度にみられました。今後の経過を注視し、状況が悪化した場合は関係者にお知らせします。

研究センターでは、東京湾でプランクトンの出現状況調査を実施し、毎月1回有害プランクトン情報を発行しています。

有害プランクトンが確認された場合など必要に応じて調査結果を速報として発行します。
（連絡先：東京湾漁業研究所 0439-65-3071）